

演習 2

一時的な避難

目的

- ・ 避難所等での対応能力の向上。
- ・ 避難場所等で対応できない人を見極める。

<設問 1>

皆さんは自宅で大きな地震が発生し、それぞれの指定避難所へ避難しました。

皆さんは避難者です。次々と地域住民が避難してきている状況です。

避難直後の以下の項目を考えて下さい。

①避難所のリーダーは誰か？

②一時的な避難での役割

ちなみに・・・

避難所・避難場所の違いと種類



避難場所 (いったん逃げる場所)

指定緊急避難場所：自治体で決められた避難場所

広域避難場所：多くの人々が来られる避難場所

一時避難場所：一時待機用の避難場所



避難所 (避難生活できる場所)

指定避難所：自治体で決められた避難所

福祉避難所：高齢者や障害者など、
配慮が必要な方用の避難所

指定緊急避難場所

自治体が定めた住民等が災害から命を守るために一時的に避難する場所。

福津市の緊急指定避難場所一覧

地域名	施設名	海抜（メートル）	土砂災害時	洪水時	地震時	津波時
勝浦	あんずの里 農林業体験実習館	22.0	○	○	○	○
津屋崎	福津市複合文化センター文化会館「カメリアホール」	4.5	○	○	○	○
宮司	宮司コミュニティセンター	6.5	○	○	○	○
神興	神興小学校	61.0	○	○	○	○
	福津市健康福祉総合センター「ふくとびあ」	16.0	○	×	○	○
神興東	福間東中学校	33.0	○	○	○	○
福間	福間小学校	9.0	○	○	○	○
福間南	福間南小学校	9.0	○	×	○	○
上西郷	上西郷小学校	29.0	○	○	○	○

※「×」は避難場所として使用できないことを表しています。

「福津市ホームページを参照」

避難所について

気象情報や各地域の地形などを考慮し、市が必要と判断した際に開設し、最新の避難所開設情報は、市公式ホームページのトップページや、緊急速報メール、防災行政無線などで知らせる。

避難所・避難場所の種類



指定緊急避難場所 住民等が災害から命を守るために緊急的に避難する際の避難先



指定一般避難所 災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険がなくなるまでに必要な期間滞在させ、または居住の場所を確保することが困難な被災した住民等が一定期間避難生活を送る場所



広域避難場所 地震などの災害によって火災が延焼拡大した際に、身を守るために一時的に避難する屋外の場所



指定福祉避難所 高齢者、障がいのある人、乳幼児等の特に配慮を要する人を滞在させることを想定した避難所



指定一般避難所および指定緊急避難場所、指定福祉避難所

地域名	区分	施設名
勝浦		勝浦小学校
		農林漁業体験実習館(あんずの里)
津屋崎		津屋崎小学校
		津屋崎中学校
		県立水産高等学校
		複合文化センター文化会館 「カメラアホール」
		津屋崎体育センター
宮司		宮司コミュニティセンター
神興		神興小学校
		県立光陵高等学校
		中央公民館
		健康福祉総合センター 「ふくとびあ」

神興東		神興東小学校
		福間東中学校
福間		福間小学校
		福間体育センター
		福間中学校
		市立図書館
福間南		福間南小学校
上西郷		上西郷小学校



広域避難場所

地域名	施設名
勝浦	勝浦小学校グラウンド
	あんずの里運動公園多目的広場
津屋崎	津屋崎小学校グラウンド
	津屋崎中学校グラウンド
	県立水産高等学校グラウンド
神興	神興小学校グラウンド
	県立光陵高等学校グラウンド

神興東	神興東小学校グラウンド
	福間東中学校グラウンド
福間	福間小学校グラウンド
	福間中学校グラウンド
福間南	福間南小学校グラウンド
上西郷	上西郷小学校グラウンド
	なまずの郷多目的グラウンド

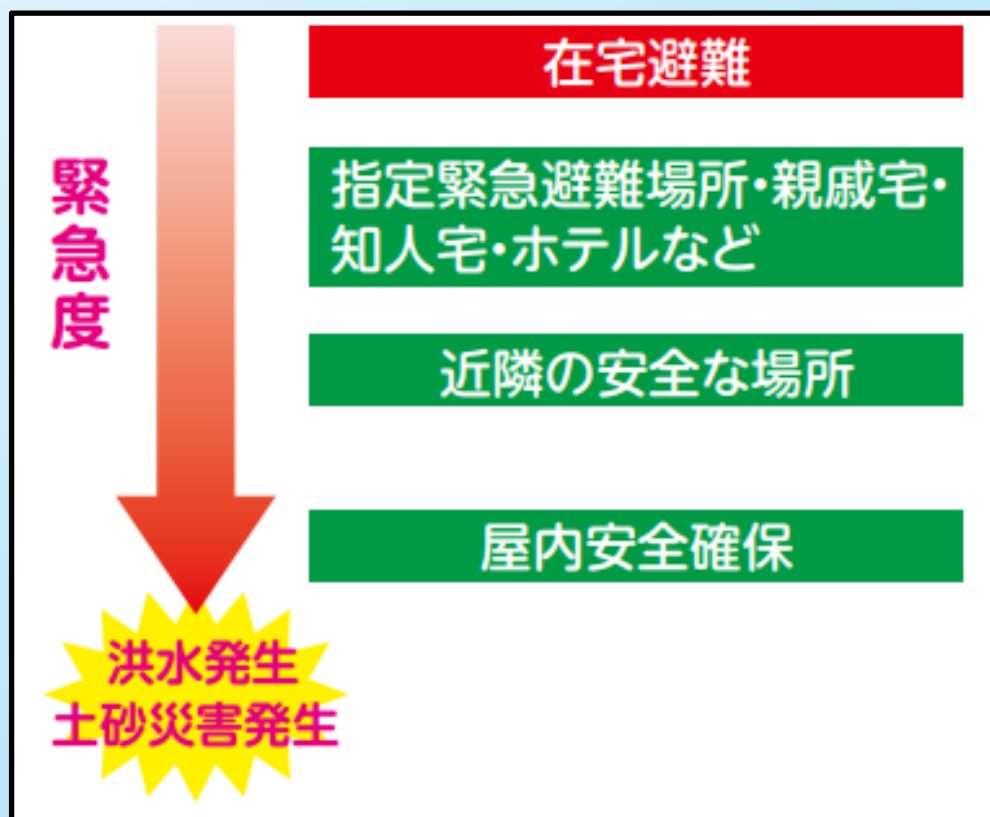
ペットとの同行避難が可能な避難所

施設名
中央公民館
複合文化センター文化会館「カメリアホール」
宮司コミュニティセンター
農林漁業体験実習館(あんずの里)
健康福祉総合センター「ふくとぴあ」
津屋崎体育センター

分離避難

指定避難所等以外の場所に避難することを「分散避難」といいます。

避難する場所は、そのときの状況によって変わります。



指定緊急避難場所などへの「早期の立退き避難」 事前の準備と**早めの判断・行動**が必要。

自宅で安全が確保できる場合は自宅で待機する。

浸水が既に始まっていて**長距離移動が危険** 避難経路の途中で**土砂災害の恐れ**がある場合。

外に出る方がかえって危険な場合は、その時点でいる建物にとどまる 建物内のより安全な場所（上の階、山から離れた部屋）へ移動する。

① 「避難場所のリーダーは誰か？」

- ・ 誰が？
- ・ どの様に？
- ・ いつ決める？



解説：まずは～

福津市では、警戒レベル3「高齢者等避難」の発令段階で指定緊急避難場所8箇所を開設するように計画している。

「福津市避難所開設・運営マニュアル参照」

「避難所運営の基本方針」

- ・原則として地域住民（避難者）による自主運営を目指す。

「福津市避難所開設・運営マニュアル参照」

気象状況	気象庁等の情報				市の避難情報	みなさんがとるべき行動	警戒レベル	
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	半半の元 災害切迫		氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保! •すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5	
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~								
↑	土砂災害警戒情報	高潮警戒情報	高潮特別警戒情報	危険	氾濫危険情報	避難指示	危険な場所から全員避難 •台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
大雨の数時間前	大雨警報 洪水警報	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報		警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 •高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
↑	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮注意報		注意	氾濫注意情報		自らの避難行動を確認 •防災マップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨の1日前	大雨注意報 洪水注意報							
↑	大雨の数日前	早期注意情報 (警報級の可能性)				災害への心構えを高める	1	

※夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成(一部改変)

**避難情報が発令されていなくても身の危険を感じる時は、より安全な場所で過ごしてください。**

「福津市防災マップ参照」

# 解説：

## ① ・避難場所のリーダーは誰か？

誰が？

- ・避難してきた地区の区長または、自治防災組織の会長や副会長から選出。
- ・副リーダーも同様に選出。防災活動や避難所運営に係る知識がある人が望まれる。

解説：

どの様に？

- ・ 避難者の総意により選出。
- ・ 想定したメンバーが避難場所へ来ない場合は、避難者の話し合いにより代行者を選出。

いつ決める？

- ・ 原則的に事前に想定。
- ・ 自治防災組織等を中心に事前に決める。

## ② 一時的避難での役割

- ・ 一時的避難であることを考慮し、どのような役割が必要か？



**解説：**

## **安全確認・二次災害防止班**

**建物被災状況チェックシートを確認。**

- ・ 外部の状況の点検。
- ・ 危険箇所は立入禁止の張り紙を貼る。
- ・ 建物の状況に不安があれば災害対策本部へ報告。

# 解説：建物被災状況チェックシート（様式1）

「福津市避難所開設・運営マニュアル参照」

## 様式1 建物被災状況チェックシート

### 【チェックの手順】

- ① 質問1から順に点検を行い、外部状況の点検（質問1～6）でB又はCと判断された場合は、建物内に入ることせず、内部状況の点検（質問7以降）については行う必要はありません。
- ② 危険と認められる場所については、貼紙をするなどして立ち入り禁止とします。
- ③ このチェックシートの質問項目に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、市災害対策本部（建設課）へ連絡し、被災建築物応急危険度判定士による判定を待ちます。

避難所名：

点検実施者名：

点検実施日時： 月 日 時頃

### 【外部状況の点検】

建物の外から見て、次の質問の該当するところに○を付けて下さい。

外部状況についての質問	該当項目
1 隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れ込む危険性がありますか？	A いいいえ B 傾いている感じがする C 倒れ込みそうである
2 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じましたか？	A いいいえ B 生じた C ひどく生じた
3 建物が沈下しましたか？あるいは、建物周囲の地面が沈下しましたか？	A いいいえ B 沈下した C ひどく沈下した
4 建物が傾斜しましたか？	A いいいえ B 傾斜しているような感じがする C 明らかに傾斜した
5 外部の柱や壁にひび割れがありますか？	A ない又は髪の毛程度のひび割れがある B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
6 外壁タイル・モルタルなどが落下しましたか？	A いいいえ B 落下しかけている、落下している (Cの回答はありません)

### 【内部状況の点検】

建物の中に入り、次の質問の該当するところに○を付けて下さい。

内部状況についての質問	該当項目
7 床が壊れましたか？	A いいいえ B 少し傾いている、下がっている C 大きく傾斜している、下がっている
8 内部のコンクリートの柱、壁にひび割れがありますか？	A ない又は髪の毛程度のひび割れがある B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
9 建具やドアが壊れましたか？	A いいいえ B 建具・ドアが動かない C 建具・ドアが壊れた
10 天井、照明器具が落下しましたか？	A いいいえ B 落下しかけている C 落下した
11 ガスが漏れている匂いがしますか？	A いいいえ C ガスの匂いがする (Bの回答はありません)

### 【判定基準】

点検の結果	判定	対応
① Cの答えが一つでもある場合	<b>危険</b>	建物内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を待ちます。
② Bの答えが一つでもある場合	<b>要注意</b>	建物内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補修を行う等、必要な措置を講じます。
③ Aのみの場合	<b>使用可能</b>	危険箇所を注意し、施設を使用します。

※ 余震により被害が進んだと思われる場合は、再度チェックシートで被災状況を点検して下さい。

※ このチェックシートによる判断は、あくまで臨時的なものであるため、市災害対策本部（建設課）へ連絡し、できるだけ早く被災建築物応急危険度判定士による判定を受けて下さい。

# 解説：

## 避難所開設チェックリストの確認

- 1 避難所への到着
- 2 市担当者、施設管理者の到着
- 3 建物の安全確認
- 4 避難所の本部を設置
- 5 設備・ライフラインの確認
- 6 災害対策本部への連絡
- 7 受入スペースの確保
- 8 避難者の登録
- 9 避難者への説明
- 10 設備、資器材の確認
- 11 災害対策本部への要請事項

※避難所のリストであるが、避難場所でも  
応用しよう！

## 避難所開設チェックリスト（様式2）

様式2 避難所開設チェックリスト

項目	対応項目	確認
1. 避難所への到着	・建物内外にいる避難者をまとめ、落ち着かせる	<input type="checkbox"/>
2. 市担当者、施設管理者の到着	・到着していない場合は、そのまま業務継続	<input type="checkbox"/>
3. 建物の安全確認 ※安全確認が済むまで避難者を入れない。	・「建物被災状況チェックシート」で、建物の安全確認をする ・火災は発生していないか ・敷地内に危険な箇所はないか（脚柱の腐れ、塀が倒れる） ・自動車乗り入れの規制はないか	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4. 避難所の本部を設置	・運営業務場所の安全確認	<input type="checkbox"/>
5. 設備・ライフラインの確認	・電気、放送設備が使用できるか ・電話、FAXが使用できるか ・水道が使用できるか ・ガスが使用できるか ・トイレが使用できるか ・無線機が使用できるか ・周辺の道路状況把握（避難者からの情報収集）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6. 災害対策本部への連絡	・避難所設置及び状況を報告	<input type="checkbox"/>
7. 避難者受入れスペース等の確保	・安全な設置、スペースを確保し、避難者を誘導 ・室内の整理等は、避難者に協力を依頼し処理する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8. 避難者の登録	・避難者の世帯ごとの登録	<input type="checkbox"/>
9. 避難者への説明 ※風雨時のため、冷静な態度でゆっく り説明する。 ※混乱の防止に努める	・「避難所共通ルール」の掲示、配付、説明 ・トイレの使用手順、火気取扱について説明 ・避難者名簿未登録者への登録依頼 ・その他、把握できている災害情報の説明	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
10. 非常用設備、資器材の確認	・施設にある資器材の確認 ・非常用設備の確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
11. 災害対策本部への要請事項の 整理・報告 ※総務課を要請します	・水、食料、生活物資の要請 ・応援職員の派遣要請 ・その他	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※原則として、市担当者（市民課）がチェックしながら業務を実施します。

※市担当者が不在で、かつ、緊急の場合には、施設管理者がその役割を補完します。

※市担当者、施設管理者がともに不在で、かつ、緊急の場合には、避難者リーダーが実施します。

# 医療ケアが必要な人の情報

- ・避難行動要支援者の個別避難計画表があれば情報が入手できる

※個人情報のため取扱注意

市役所職員と  
協力が必要で  
ある

- ・けが人や医療的ケアが必要な人は避難所対応可能であるのか？病院へ搬送する必要があるのか？を考えなければならない。

詳しくは後  
に説明

# 解説：

## 情報班

### 情報を収集

- ・ 外部：医療機関への到達経路や搬送方法、行政、消防団、自主防災組織等の活動状況の把握。
- ・ 内部：ニーズに合わせた資源。

### 情報収集の手段

- ・ ラジオ、防災無線、SNS、アプリ等。

### 発信・伝達

- ・ 救助や救急、物品、人員の支援を要する際の手段の確保。

## <設問 2>

避難者の入所受付と避難者名簿等を作成し、災害  
対策本部へ報告してみましょう。

### 受付要領

2地区でペアを組み、避難者と受付役に  
分かれて下さい。

### 名簿作成

様式に記入して災害対策本部へ報告をして  
下さい。

# 避難者カード（様式4）

様式4 避難者カード

※避難者カードの情報を福祉避難所に提供することについて同意します。□チェック

## 避難者カード

避難所名

受付番号

(記入者)

氏名		住所・電話										
		住所： 電話：										
被災等からの安全確認への同意												
<input type="checkbox"/> 可	※必ず家族会員の同意を得たうえで✓を記入すること。また、DVの被害者等により情報開示を希望しない場合は、必ず申し出ること。											
<input type="checkbox"/> 不可												
避難の状況	<input type="checkbox"/> 避難所	<input type="checkbox"/> 車中	<input type="checkbox"/> 屋外テント(場所)	<input type="checkbox"/> その他( )								
車	車種：	ナンバー：				色：						
避難所入所日時	令和 年 月 日 時 分											
避難所退出日時	令和 年 月 日 時 分											
(構成員)												
フリガナ 氏 名	性別	年齢	配慮が必要な事項（下部に詳細を記入）									
			妊娠 産後	要介護	身体 障害	視覚 障害	聴覚 障害	言語 障害	その他	アレルギー	薬物 依存	その他
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
✓を入れたものの詳細記入欄												
ペット	<input type="checkbox"/> 犬 種類： 数：	<input type="checkbox"/> ネコ 種類： 数：	<input type="checkbox"/> その他 種類： 数：	ペットの管理方法								
(避難家族)												
氏名	性別	年齢	その他									
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳										
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳										

※上記の記入事項については、災害対策基本法第10条の5に基づき被災者台帳の作成、及び避難所運営委員会に利用しますのでご了承ください。

※職員記入欄

担当者名：

# 避難者名簿（様式5）

様式5 避難者名簿

避難者名簿

避難者名簿		災害名	避難所名			作成者	氏名	期	年
番号	避難期間	氏名	性別	年齢	世帯主との続柄	現住所	離散家族氏名 《続柄》	事後消息	備考
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								
	月 日～ 月 日								

注1)「離散家族氏名《続柄》」欄には、避難によって生き別れとなった者の氏名を記入すること。

注2)「事後消息」欄には、避難所出所後の行先を記入すること。

注3)「備考」欄には、住民以外の者の所用（業務、旅行ほか）等を記入すること。

様式7

# 避難所設置及び収容状況（様式6）

様式6 避難所設置及び収容状況

避難所設置及び収容状況

市町村名：No.

避難所の名称	種 別	開 設 期 間 月 日～ 月 日	実人員 人	延人員 人	物 品 使 用 状 況		実支出額 円	備 考
					品 名	数 量		
小 計	既存建物 箇 所   屋外仮設 箇 所		人	人			円	
合 計	天 幕 箇 所							

(注) 1 「種別」欄は、既存建物、屋外仮設、天幕の別に記入すること。

2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品名、単価、数量を記入すること。

3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。（ただし、該当者が多く記入不可能の場合は、その「避難者名簿」の写しを添付し、その旨を「備考欄」に記すこと。）

4 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線でけすこと。

# 避難所運営記録（様式7）

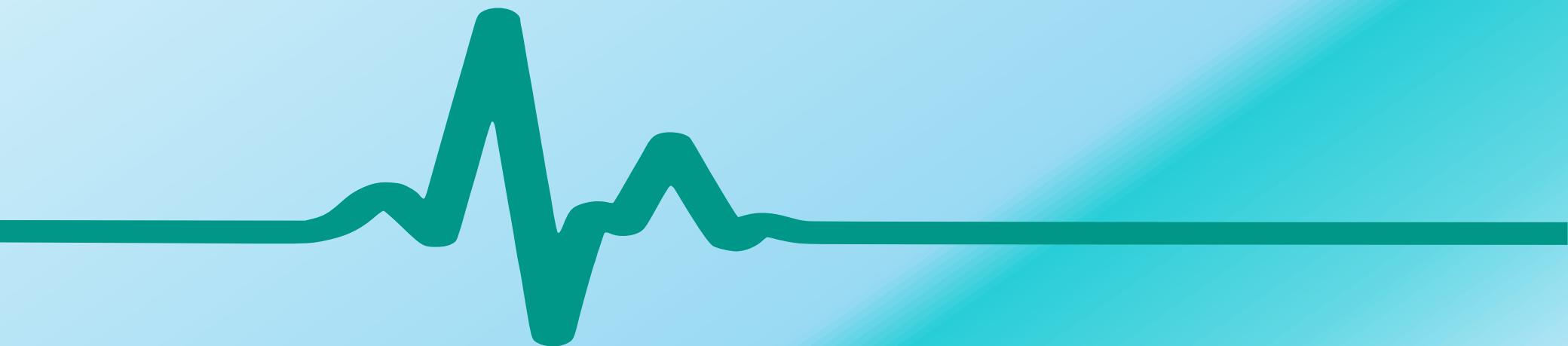
様式7 避難所運営記録

避難所運営記録				
年 月 日 時 分現在		受信日時		月 日 時 分
発信機関	避難所		発信者	
受信機関			受信者	
避難者数	男	女	計	備 考
	人	人	人	
(運営状況)				
(問題点・要望等)				

## <設問 3>

避難場所等では対応できないケガ人を見抜くには  
どうしたらよいでしょう？（緊急度、重症度を見  
抜く）

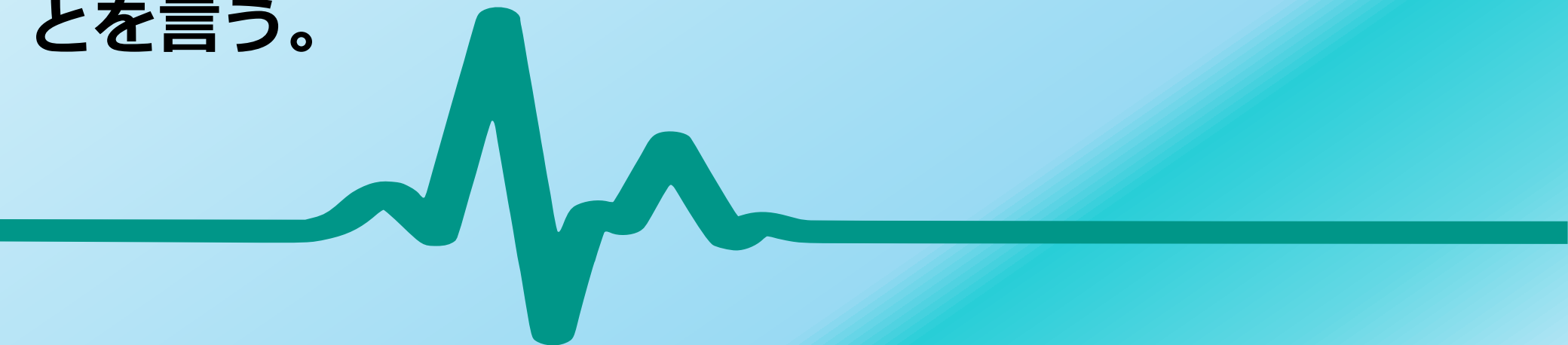
- ・ 少しでも救急の知識を身につけてみましょう。



# 避難者が多くいる中で重症者を見抜く方法として トリアージ（スタート法）をご紹介します。

トリアージ（スタート法）とは・・・

災害時に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者に**治療優先順位**を決めることを言う。



# どうやって治療の優先順位を決める？

～患者の緊急度を色に分ける～

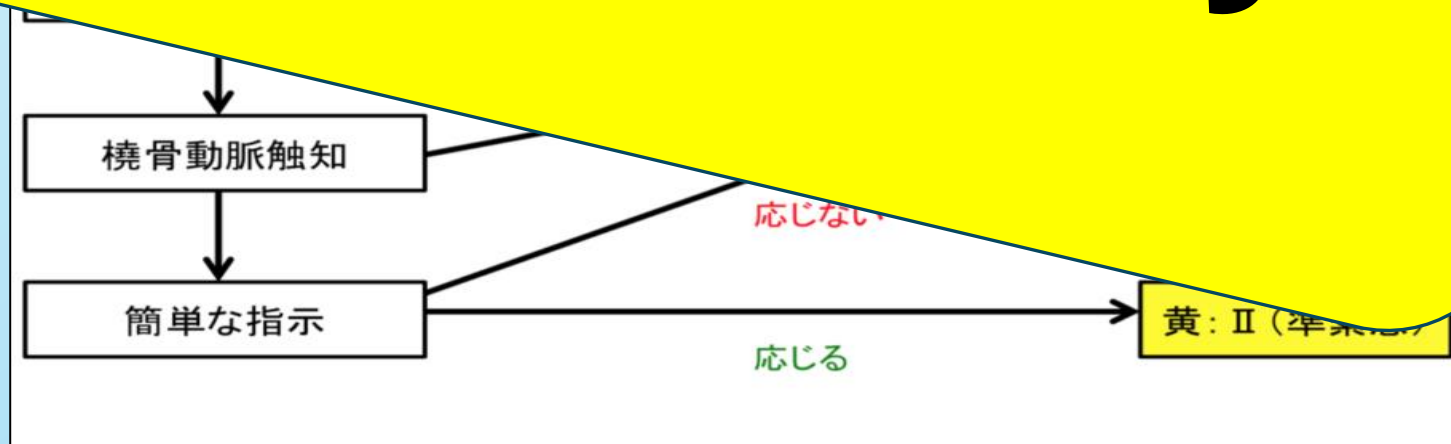
※皆さんは**赤色**の緊急治療ありの避難者を見抜けるようになりましょう。



# 赤色探すには？

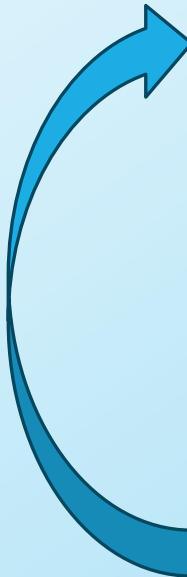
トフローチャートがあります。

少し難しいので簡易的な観察方法を紹介します



# 赤色探すには？

要するに～

- 
- ①歩行不可能
  - ②呼吸無し（起動確保で自発呼吸あり）
  - ③呼吸回数（遅いor速い）→自分と比べてみて
  - ④脈拍触知不可
  - ⑤従命反応なし（簡単な指示に従えない）
    - ・手を握れない
    - ・自分の名前が言えない

- ・上記の条件を①～⑤の順番で観察を行う。
- ・観察の途中で①～⑤の項目に当てはまると  
**赤色（緊急治療が必要な人）**

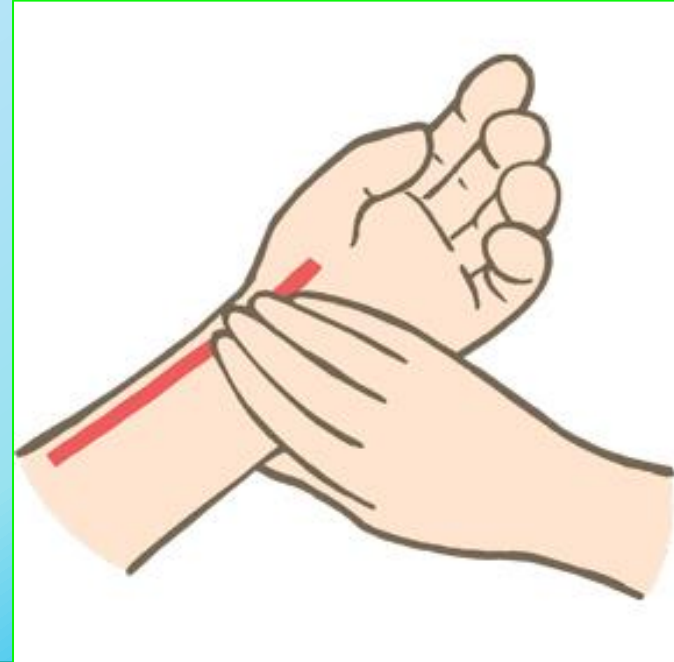
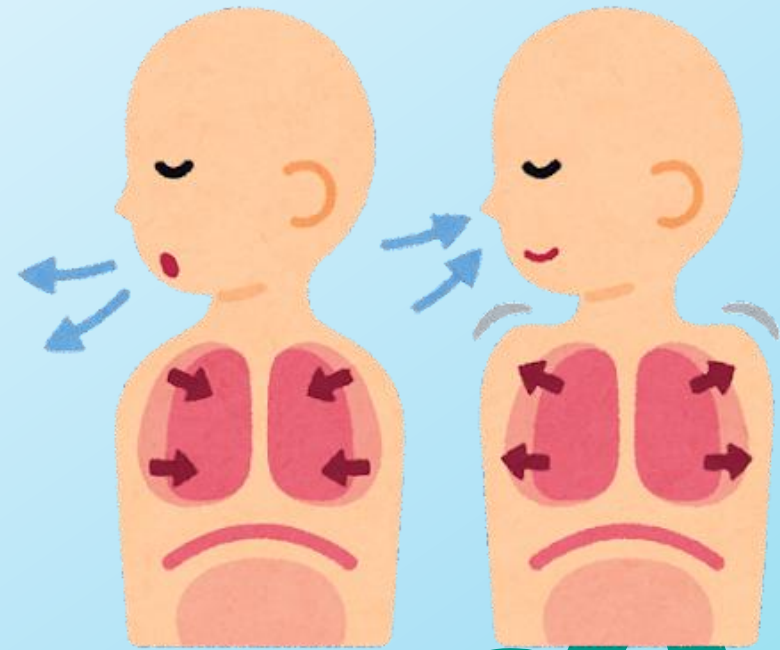
試しに隣の方とペアを組んで**呼吸回数**と**脈拍**に触れてみましょう。

## 呼吸回数

胸の上り下がりを確認する。

## 脈拍

- ・手のひらを上向きにする。
- ・人差し指、中指、薬指の3本を使う。
- ・イラストの赤線部分に触れる。



# その他の緊急治療が必要な状態

## ショック

血液の循環がうまくいかなくなり、脳や臓器などが酸素不足におちいり、生命にかかわる大変に危険な状態に陥ります。早期に治療する必要があります。

早期に医療  
機関へ搬送

## 症状

- ① 蒼白～手足や顔が白っぽくなる。唇が紫
- ② 冷汗～冷たい汗。
- ③ 虚脱～表情がぼんやりし、反応が鈍くなる。
- ④ 脈拍触知不能～脈（動脈）が触れない。
- ⑤ 呼吸不全～呼吸が速いもしくは遅い。

それでは問題を出しますので**赤色**or赤以外を当ててみてください。

※左から順に考えていきましょう！

### 問題 1

歩ける人：呼吸は自分と同じくらいの速さ  
脈はトクトクしている：自分の名前が言える

### 問題 2

歩けない（普段は車椅子）：普通の速さの呼  
吸脈はある：名前は言える

### 問題 3

歩けない：速い呼吸：脈が遅い  
名前はかろうじて言える：冷たい汗

それでは問題を出しますので**赤色**or赤以外を当ててみてください。

※左から順に考えていきましょう！

#### 問題 4

歩けない：唇が紫：速い呼吸  
脈拍が触れない：名前が言えない

#### 問題 5

歩けない（持病が原因）：呼吸は普段通り：  
名前が言えない（認知症あり）

#### 問題 6

歩けない（持病が原因）：蒼白：速い呼吸：  
脈は触れにくい：手を握ってくれない

# 答え



## 問題 1

歩ける人：呼吸は自分と同じくらいの速さ  
脈はトクトクしている：自分の名前が言える

以外

## 問題 2

歩けない（普段は車椅子）：普通の速さの呼  
吸脈はある：名前は言える

以外

## 問題 3

歩けない：速い呼吸：脈が遅い  
名前はかろうつして言える：冷たい汗

赤

# 答え

## 問題 4

歩けない：唇が紫：速い呼吸  
脈拍が触れない：名前が言えない

赤

## 問題 5

歩けない（持病が原因）：呼吸は普段通り：  
名前が言えない（認知症あり）

以外

## 問題 6

歩けない（持病が原因）：蒼白：速い呼吸：  
脈は触れにくい：手を握ってくれない

赤

最後に

知識が間違っているかもしれませんが！

その**心使い**が大切です。

**赤色**（緊急治療が必要な人）は**医療機関**  
へ搬送できるように手配しましょう！  
皆さんの連携で命を繋げましょう。

## <設問 1>



皆さんは自宅で大きな地震が発生し、それぞれの指定緊急避難場所へ避難しました。

皆さんは避難者です。次々と地域住民が避難してきている状況です。以下の項目を考えましょう。

### 避難所のリーダーは？

- ・避難してきた地区の区長または、**自治防災組織の会長**や副会長から選出が望ましい。

### 避難場所での役割分担は？

- ・一時的な避難であることを考慮する。
  - ①安全確認・二次災害防止班
  - ②情報班

以上の二班は避難所開設へ移行するために重要である。

# 🌸 まとめ 🌸

## <設問 2>

避難者の入所受付と災害対策本部への報告をやってみましょう。

福津市避難所開設マニュアルの様式を実際に記入することで訓練となり、受付等の要領のイメージがついたと思われます。

## <設問 3>

避難場所等では対応できないケガ人を見抜くにはどうしたらよい

でしょう？（緊急度、重症度を見抜く）

- ① 歩行不可能
- ② 呼吸無し
- ③ 呼吸回数（遅いor速い）
- ④ 脈の回数（遅いor速い）
- ⑤ 従命反応なし  
（簡単な指示に従えない）
  - ・ 手を握れない
  - ・ 自分の名前が言えない

- ① **蒼白**～手足や顔が白っぽくなる。唇が紫
- ② **冷汗**～冷たい汗。
- ③ **虚脱**～表情がぼんやりし、反応が鈍くなる。
- ④ **脈拍触知不能**～脈（動脈）が触れない。
- ⑤ **呼吸不全**～呼吸が速いもしくは遅い。

- ・ **赤色（緊急治療あり）**は直ちに医療機関へ運べるように手配しましょう。
- ・ **声掛け**や**心使い**が大切です。

# これにて演習 2

一時的な避難

終了します。

ご清聴ありがとうございました。